

# はんだ山の風



## Contents

- P2 副病院長に就任して 副病院長(運営・管理担当) 泌尿器科学講座 教授 三宅 秀明
- P3 腫瘍センターだより「緩和ケアセンター ～院内外における緩和ケアのさらなる充実のために～」 臨床腫瘍学講座 第2外科 平出 貴乗
- P6 看護部「専門・認定看護師の活動紹介」院内デイケア「ひだまり」を紹介します 認知症看護認定看護師 池本 理恵
- P7 看護部「院内デイケア「ひだまり」に参加して」 看護部業務委員会 3階東病棟 副看護師長 阿部 智恵美  
看護部業務委員会 5階西病棟 看護師 兼岡 健太郎
- P8 交通のご案内



当院は日本医療機能  
評価機構認定病院です。

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会  
〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号  
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課)  
Hpアドレス／<http://www.hama-med.ac.jp/>

過去の▶  
はんだ山の風は  
こちらから



## 副病院長に就任して

副病院長(運営・管理担当) 泌尿器科学講座 教授 三宅 秀明

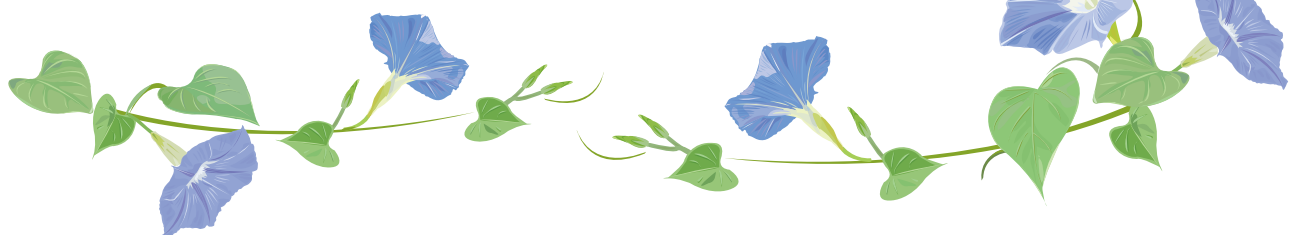


今年度より副病院長(運営・管理担当)として病院執行部の一員としての仕事をさせていただいており、本紙面をお借りして皆様にご挨拶申し上げます。浜松医科大学に赴任して3年余り、泌尿器科学講座教授を拜命して僅か2年しか経過しておらず、科内での仕事も軌道に乗せている途上であり、そのような中でこのような重責を果たせるのかいささか不安ではございましたが、今野学長、金山病院長のご指導の下、医学部附属病院の発展に少しでも貢献出来ればとの思いで、日々慣れない仕事に取り組んでおります。

大学医学部附属病院としての最大の使命が、地域の中核医療機関として医療安全を担保した上で高度かつ良質な医療を提供することにあることは論を待たないと思います。一方で、大学病院とはいえ、経営的視点を疎かすることは許されず、安定した経営状態を維持することが、病院の継続的な発展に不可欠であることに疑問の余地はありません。現在、本院は職員の献身的な努力により、手術件数の飛躍的増加、病床稼働率の上昇、平均在院日数の短縮等、非常に優れた実績を挙げております。また、医療機能強化棟の竣工を控えており、ロボット支援下手術、放射線治療、化学療法、光学医療、周産期医療等の諸分野を中心とし

て、高度医療をさらに発展させ得る恵まれた環境にあると言えます。したがって、私の最大の使命は、本院の良好な実績を今後も維持し、高度医療を円滑かつ迅速に拡充させることであると考えております。

勿論、この他にも本院の運営に関連した重要問題は山積しております。病床数適正化に向けた見直し作業、救急部の充実、浜松医療センターとの連携の具体化等、いずれも非常に重要で、待った無しの課題ばかりです。いかに適切な戦略を描いてこれらの諸問題に向き合うかが、本院の行く末に大きく影響することは必至であり、ここ数年がまさに“頑張りどころ”であると思います。このような重要な時期に、私には過大な役割を担わせていただくことになりましたが、職員の皆様と協力して微力ではありますが本院が更に発展するために全力を挙げて参りたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



# 腫瘍センター だより

## 緩和ケアセンター ～院内外における緩和ケアのさらなる充実のために～

臨床腫瘍学講座 第2外科 平出 貴乗



「緩和ケアのスタッフに相談してみようと思います。」という言葉が主治医や看護師から聞いたとき、どのような気持ちになりますか？ 治療の手立てはないのか・・・、というようなネガティブな気持ちを持たれる方が多いのではないのでしょうか。

がん対策について定められた「がん対策基本法」（平成18年6月23日公布）には、「緩和ケアが診断時から適切に提供されるようにすること」と明記されています。つまり、「緩和ケア」は「がん治療ができなくなった方への医療」、「がんの終末期に受けるもの」ではなく、あらゆる病気や治療に伴って生じる身体や心のさまざまな苦痛を和らげ、可能な限り、患者さんやそのご家族の生活の質（Quality of Life）の維持や向上を目指す、がん治療と一緒に受ける医療。それが「緩和ケア」です。

しかし、「緩和ケア」という言葉は知っていても、治療や生活で困っていることがあっても、主治医や看護師から話がなければ、どうやってお願いをするのか？どこに相談すればよいのか？分からないことが多いと思います。そんな時にまず相談できる場所、それが“緩和ケアセンター”です。

本院の緩和ケアセンターは緩和ケアチーム、緩和ケア外来、がん看護外来などが部門を越えて統合した中央部門となっており、患者さんやそのご家族が治療や在宅や転院の際に困ることが無いよう、医療福祉支援センターと連携して、院内外のコーディネートを行っています。

当センターには緩和医療を専門に行う医師、がん領域の認定看護師\*を中心に、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、公認心理師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士が在籍し（写真1）、入院中の患者さんを中心に外来の患者さんに対しても主治医の先生の治療と一緒に、専門的緩和ケアを病期に関わらず提供しています。



写真1：多職種から構成される緩和ケアセンターメンバー

4ページへ続く

## 緩和ケアセンターの業務

- 痛みや吐き気、呼吸困難など、からだの不快な症状の緩和
- こころのサポート（診断時や治療に伴う不安感の軽減）
- がん看護に関する専門資格を有する看護師等による定期的カウンセリング（がん看護外来\*\*）
- 症状の緩和に係る薬剤の相談
- 療養中の食事・栄養に関する相談（管理栄養士による食事サポート）
- 制度利用のご相談（医療保険・介護保険・福祉制度など）
- 療養の場の選択（在宅・ホスピス・緩和ケア病棟・介護施設など）
- 今後のこと（治療・生活全般など）を決めていくサポート（意思決定支援：アドバンス・ケア・プランニング）
- 医療福祉支援センターと連携した患者さんやご家族の支援
- 当院での緩和ケアが転院・在宅などでも継続して行うことができるような医療連携
- 大切な方を亡くされた方のサポート（グリーフケア）
- 院内外の医療関係者へ緩和ケアの普及・啓発（写真2）

多岐にわたる業務を行っていると思われるかもしれませんが、読み返していただくと、「患者さ

んやご家族が治療中に常に困ること」に対応するセンターの1つであることが分かると思います。



写真2：緩和ケア普及・啓発のための、緩和ケア講習会 年間5回開催し、毎回100人を超える院内外の医療スタッフが集まります。

緩和ケアセンターのスタッフが病室等に伺った際に、「本当はいろいろ聞きたいけれど、先生方は忙しそうだから…。看護師さんも大変そうだし…。」という事をよく言われるのですが、聞きたいと思われることはそのままにせず、是非ご質問ください。少しでも不安に思う事、困っていることがあれば、主治医や看護師などの医療スタッフに、緩和ケアについてゆっくり話がしたい。緩和ケアの人と話したい。看護師とゆっくり話したい。困っているのだけれど、どこか相談できる場所はないですか？そんな風に聞いてみてください。

私たち緩和ケアセンターのスタッフは、患者さん、ご家族と一緒に治療を受けて行く伴走者として少しでも治療に対する不安や苦しさを軽減し、一人でも多くの患者さんが明るく充実した人生が送れるよう、全力でサポートさせていただきます。



写真3：カンファレンスでは患者さんについて、様々な視点から苦痛や問題点を評価し、対処法を検討しています。

## がん看護外来のご案内

がん看護外来では、がん患者さんやご家族の、苦痛や気持ちのつらさ、不安に対して一緒に考え安心して治療や生活を送ることができるように、専門の看護師がサポートいたします

<p>気持ちが落ち込む 気持ちの整理ができない</p>	<p>からだの 痛みが辛い</p>
<p>相談できる人が いない</p>	<p>入院の費用や家族の 生活のことが心配</p>
<p>何が不安かわか らない…</p>	

**実施日：**月～金曜日（予約制）  
**対象者：**当院通院中のがん患者さんとその家族  
**場 所：**外来相談室  
**費 用：**保険診療  
 ＊状況に応じて、がん患者指導管理料の負担が発生します

**【担当者】**  
 緩和ケア認定看護師  
 がん性疼痛看護認定看護師  
 がん化学療法看護認定看護師  
 乳がん看護認定看護師

受診を希望される場合は  
各診療科窓口にご相談ください

資料1：がん看護外来のご案内

\*：がん領域の認定看護師とはがん性疼痛看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師の認定看護師であり、当センターには令和元年8月現在、がん性疼痛看護認定看護師、乳がん看護認定看護師が専従看護師として在籍しています。

\*\*：がん看護外来とは「がん患者さんが抱える身体面、心理面、社会面の問題に関する相談を受け、がん患者さんが安心して治療や在宅療養生活を送れるように支援する。」外来であり、がん領域の認定看護師が予約制でお話を伺います（資料1）。

## 院内デイケア「ひだまり」を紹介します

認知症看護認定看護師 池本 理恵



「院内デイケア」という言葉に馴染みのない方が多いと思います。「院内デイケア」というのは、病室のベッドから離れ、治療を忘れて楽しい時間を過ごしていただくためにアクティビティー（体操・ゲーム・工作など）に参加することをいいます。

治療が中心となる急性期病院の高齢の患者さんでは、入院生活の中で、様々な苦痛や不安を感じ、また安静や行動の制限により身体機能が低下しやすくなります。そこで、「院内デイケア」に参加していただき、せん妄や身体機能の低下を予防し、健康障害の回復や治療の促進をするとともに、退院後できるだけその人の望む生活が送れるように支援することとして現在多くの急性期病院で取り入れられてきています。

私は、2017年より認知症看護認定看護師として外来から病棟を組織横断的に活動しています。その活動を生かし、2018年3月より看護部の協力のもと、業務委員会と共に院内デイケア「ひだまり」を週一回、午前中の時間を利用して開催しています。当院の「ひだまり」は高齢患者さんと一緒に季節の歌を歌ったり、アクティビティーなどをおこなったりしています。

「ひだまり」のスケジュールの中で「今日の日」として開催日にちなんだお話を取り入れています。認知機能が低下すると、日にちや時間の認識が薄くなり不安や混乱につながります。そのため、「今日の日」のエピソードを語り、繰り返し

「今日」を伝え「今」を認識できるようにしています。たとえば、8月28日は

「日本テレビが放送を開始した日」でした。この「テレビ」を題材にして当時を思い出せるように会話の糸口を提供し、参加者同士で会話を楽めするようにしています。この会話をすることや思い出すということは脳の活性化に良いとされています。さらに、会話をすることで笑顔が生まれます。笑顔にはとても多くの良い効果があると言われています。その笑顔を増やせるように「ひだまり」の運営を看護部業務委員会を中心として行なっています。

このような機会を活用していただき、患者さんの入院生活が充実できるよう頑張っています。



患者さんに合わせて楽しくレクリエーション



## 院内デイケア「ひだまり」に参加して

看護部業務委員会 3階東病棟 副看護師長  
阿部 智恵美



私が「ひだまり」に参加して感じたことは、参加されている患者さんの表情が豊かであることです。入院して行なわれる経験のない検査や治療、慣れない入院生活の場所から一旦離れ、ほっとされているのかもしれない。

私達看護師にとっても、患者さんの個人のペースに合わせ、その方の嗜好に合わせた介入ができる場づくりは大変心地よい時間です。患者さんの快の部分を引き出すことに注力しながら、自身の普段の看護ケアを振り返るきっかけにもなりま

す。また、患者さん同士が交流をすることで、お互いが気持ちよく過ごせるよう、配慮する一面もみられ、社会性を取り戻しているようにも感じます。

今後も、「ひだまり」での関わりを通じて、患者さんの表情や反応をいかに多く引き出せるか考え、病棟でのケアにつなげられるように参加していきたいと思います。

## 院内デイケア「ひだまり」に参加して

看護部業務委員会 5階西病棟 看護師  
兼岡 健太郎



院内デイケアに参加する前は、具体的な内容をイメージすることができず「どのように患者さんと接するのが良いだろうか」と緊張して参加しました。

実際に院内デイケアに参加してみて、最初は、参加した患者さんたちの緊張した表情が、レクリエーションを通して穏やかな表情や会話へと変化していくのを感じました。患者さんにとって院内デイケアは入院や治療という状況から離れ、普段の生活に戻る時間となっているのではないかと思います。私自身も、「患者さん」と接するのではなく、日常生活の中での「高齢者」と接してい

るような感覚で自然と会話が生まれ緊張がほぐれてきました。

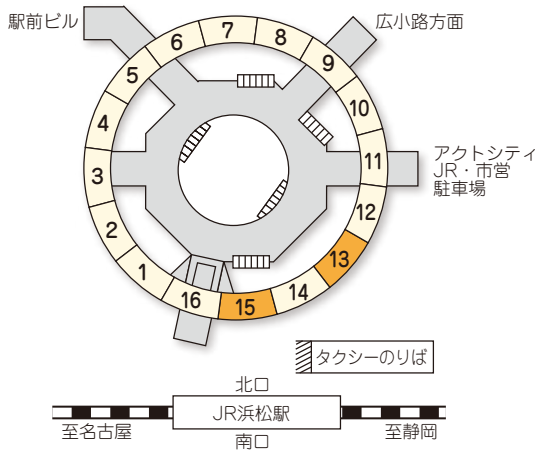
今まで私は、外科病棟に勤務しているため、患者さんの治療を中心にケアを実践し医療者として患者さんに関わってきました。

今回、院内デイケアを通じて、一番身近な存在である看護師として、患者さんの入院生活の中で少しでも普段の生活を感じる時間を提供していけるような関わり、看護が必要であると感じました。

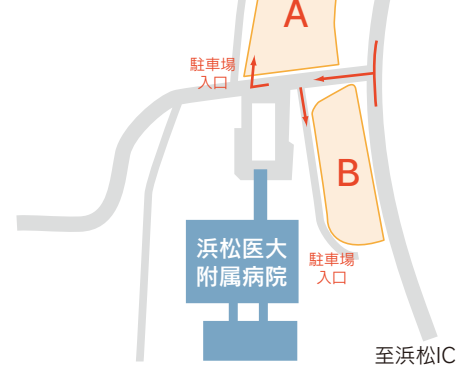
# 交通のご案内



## 浜松駅北口バスターミナル図



## 駐車場 (患者・面会者用)



1. ご来院の際は上記駐車場をご利用ください。
2. 入院患者さんの自家用車での来院はご遠慮ください。
3. 入院患者さんでやむを得ず自家用車で来院し入院された方は、一般利用の方と同様に駐車料金が必要となりますので、ご了承ください。

外来患者の方 付添いの方	最初の 30分まで 無料	1回/100円 (駐車後24時間)
お見舞いの方 一般利用の方		60分/200円 最大料金 駐車後24時間 600円

※平成30年4月1日(日)よりタイムズ24株式会社が駐車場の管理運営を行います。

	バスのりば	路線名称等	時間
遠鉄バス	13番ポール 路線番号 50	山の手医大線 医大行き	約 35分
	15番ポール 路線番号 47	医大じゅんかん (葵町まわり)	約 40分

※各路線とも医科大学下車



# 外来診療日一覧

2019.9.1現在

受付時間 午前 8時30分～11時 一般外来・専門外来  
午後 0時30分～2時 専門外来

○：午前  
◆：予約のみ

休診日 土曜日および日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
<b>内科</b> 受付電話 435-2632											
一般内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
消化器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
腎臓内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午後のみ
神経内科	◆	◆	◆			◆	◆	◆		◆	水曜日：午前のみ
感染症専門外来			◆					◆			午後のみ
肝臓内科	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	
呼吸器内科	◆	◆				◆	◆		◆	◆	
禁煙外来	◆					◆					
内分泌・代謝内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	
血液内科	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午前のみ
免疫・リウマチ内科	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
臨床薬理内科	◆			◆	◆	◆			◆	◆	要問い合わせ
循環器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	火曜日：午後のみ
ペースメーカー外来											予約のみ 要問い合わせ
ピロリ菌外来	◆										午後のみ
<b>精神科神経科</b> 受付電話 435-2635 ※平成28年5月から、初診完全予約制を実施しています。											
初診・再診		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
児童思春期外来							◆				
成人発達障害外来			◆						◆		
摂食障害専門外来									◆		
デイケア							◆		◆	◆	
<b>小児科</b> 受付電話 435-2638											
初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
内分泌・遺伝		◆					◆				
内分泌		◆					◆				
心臓									◆	◆	
血液				◆	◆				◆	◆	※初診は随時電話で
免疫・アレルギー	◆			◆	◆		◆		◆	◆	
神経	◆	◆		◆	◆		◆	◆	◆	◆	
腎臓				◆					◆		
新生児フォローアップ						◆	◆			◆	
乳児検診	◆					◆					
CCS外来									◆		第4週のみ
<b>小児外科</b> 受付電話 435-2638											
初診・再診		◆		◆		◆	◆		◆		
<b>外科</b> 受付電話 435-2641・2642											
心臓血管外科	○		○		◆	○		○		◆	
血管外科		◆		◆			◆				木曜日：午前のみ(下肢静脈瘤)
呼吸器外科			◆					◆		◆	
乳腺外科	◆	◆			◆	◆	◆		◆	◆	
上部消化管外科			◆					◆	◆		
下部消化管外科	◆					◆			◆		木曜日：午前のみ
肝・胆・膵外科				◆	◆				◆	◆	
一般外科	○		○		○	○		○		○	
肥満減量外来					◆					◆	
緩和ケア外来		◆			◆		◆			◆	
<b>脳神経外科</b> 受付電話 435-2644											
初診・再診	◆	◆		◆	◆		◆		◆	◆	
<b>整形外科</b> 受付電話 435-2647											
初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
教授外来(脊椎)	◆			◆	◆	◆			◆	◆	
骨粗鬆症				◆	◆				◆	◆	
リウマチ			◆	◆				◆	◆		
手・末梢神経			◆					◆			
脊椎	◆					◆					
腫瘍			◆					◆			
股関節					◆					◆	
肩関節					◆					◆	
膝関節・スポーツ					◆					◆	
小児整形	◆					◆					
ヘルニア							◆				

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
皮膚科 受付電話 435-2650												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	アトピー外来	◆		◆			◆		◆			奇数月 第4週のみ
	光線過敏症外来		◆				◆					
	脱毛症外来	◆		◆			◆		◆			
	乾癬外来		◆				◆					
	皮膚リンフォーマ外来				◆					◆		
泌尿器科 受付電話 435-2653												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆			
専門外来	腎移植外来				◆				◆			医師交代制
	排尿障害外来		◆				◆					第1、3、4、5週のみ
	不妊症外来		◆				◆			◆		
	腫瘍外来		◆	◆	◆		◆	◆	◆			
眼科 受付電話 435-2656												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		火・金曜日：午前のみ
専門外来	網膜変性外来		◆				◆					
	斜視・弱視外来							◆				
	ロービジョン										◆	
	角膜外来									◆		第2週のみ（月により変更あり）
耳鼻咽喉科 受付電話 435-2659												
	初診・再診	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆		
専門外来	腫瘍外来	◆					◆					
	耳外来				◆					◆		
	めまい外来			◆								
	耳鳴外来		◆				◆					
	難聴外来・人工内耳外来		◆				◆					
	睡眠時無呼吸・いびき外来					◆					◆	
	顔面神経外来		◆		◆		◆			◆		
	鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科 受付電話 435-2662 ※女性医師ご希望の方はお申し出ください。												
	産科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		里帰り分娩等の方は、妊娠20週までに一度受診していただき、分娩予約をお願いします
	婦人科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
専門外来	婦人科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	産科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	腹腔鏡外来				◆					◆		第2週・第4週
	母親学級							◆				第1、2、4週のみ
A R T 室 受付電話 435-2664												
	不妊外来						◆	◆		◆	◆	
放射線科 受付電話 435-2665												
	放射線治療科 放射線治療外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	放射線診断科 IVR外来		◆					◆				
麻酔科蘇生科 受付電話 435-2668												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
リハビリテーション科 受付電話 435-2747												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		要問い合わせ 午前のみ
専門外来	義肢・装具外来			◆					◆			午後のみ
	嚥下外来	◆		◆			◆		◆			
	痙縮外来		◆		◆		◆			◆		
	高次脳外来	◆			◆		◆			◆		
形成外科 受付電話 435-2496												
	初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○		
歯科口腔外科 受付電話 435-2673												
	初診・再診	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆		専門外来の診察日は不定期のため、歯科口腔外科外来受付電話にお問い合わせください
専門外来	唇顎口蓋裂外来			◆					◆			
	顎補綴			◆					◆			
	矯正歯科				◆					◆		

※市外からお電話の場合は、電話番号の前に市外局番（053）を付けてください。